

地域社会へ貢献する 自然再生に向けて

十勝川水系自然再生検討会（第2回） 令和5年6月15日

- 十勝川は、数多くの川の流れを集め、広大な流域を形成しています。そこではさまざまな生命の文化をはぐくまれており、その豊かさによって地域の暮らしが支えられ、十勝流域の人命・資産が守られています。
- 治水と環境は私たちの社会を形成する要素であり、十勝川水系自然再生はその下支えとして自然環境が有する多様な機能を活用して地域社会に貢献していきたいと考えています。
- 具体的には社会・経済的、自然環境の観点から次世代を担う人材の育成や地域活性化や文化継承など地域が直面する課題への対応を行い、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりへ繋げていきたいと考えています。
- 自然と共生する社会の実現を目指し、地域とコミュニケーション（意見交換、協働・連携）を図り、十勝川流域の持続可能な川づくり、まちづくり、ひとづくりの取組を推進します。

○ 自然環境や河川環境を活用した地域経済への貢献のあり方や、地域活性化に向けた具体的な取組を行い、自然と共生する社会の実現を目指す。

- 整備に関連して地域経済へ寄与する取組の促進：河川における環境教育の利用や、環境保全活動の場としての利用を図る
- 観光関連産業への利活用の促進：河川におけるエコツーリズムなどの観光利用や日常的なレクリエーション利用を図る
- 地域協働体制の構築：上記を実施する上で、自然環境の保全・維持に向けた地域協働体制の構築を図る

「十勝川水系自然再生委員会
（仮称）」にて促進・検討

利活用

（ツーリズム等（観光振興））
（日常的なレクリエーション利用）

環境教育

（環境教育の場の提供）

自然景観 環境保全

（生態系サービスの享受）

自然再生事業メニュー
（ソフト整備）

- 十勝川流域は、大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園、日高山脈襟裳国定公園が立地し、阿寒国立公園、釧路湿原国立公園が隣接する自然豊かな地域である。
- アウトドア観光推進にあたって、十勝管内ではDMOなど地域づくりのかじ取り役として機能する法人が設立されている。
- また、下流自治体では海と川の自然環境を生かしたロングトレイルなども企画・実施されている。
- 山、川、海の良い自然環境を繋ぐことでポテンシャル高め、ネットワーク化を図り、河川環境の活用を考えていく。

北側の地域とのつながり

糠平・然別エリア

- ・旭川方面からのゲートとなるエリア
- ・考えられる核拠点：ひがし大雪自然館

富良野方面：サホロ

札幌方面：トマム

西側の地域とのつながり

新得・清水エリア

- ・札幌・富良野方面からのゲートとなるエリア
- ・考えられる核拠点：十勝川ダム

十勝中核エリア

- ・十勝川流域の中核となるエリア
- ・考えられる核拠点：十勝エコロジーパーク

中札内エリア

- ・日高方面からのゲートとなるエリア
- ・考えられる核拠点：新規設定が必要

日高方面：日高山脈ジオパーク

日高方面：襟裳岬

旭川方面：大雪山

北見方面：網走湖

阿寒方面：阿寒湖

北・東側の地域とのつながり

利別エリア

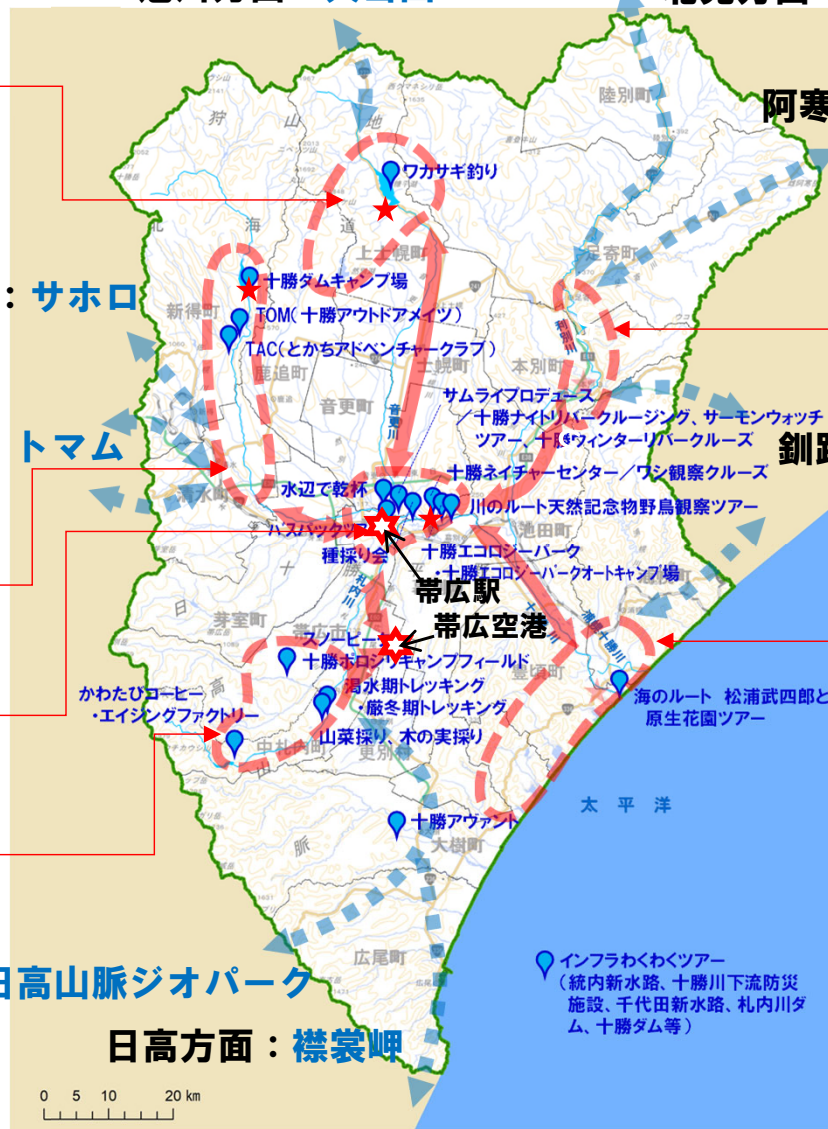
- ・北見・阿寒・釧路方面からのゲートとなるエリア
- ・考えられる核拠点：新規設定が必要

釧路方面：釧路湿原

東側の地域とのつながり

豊頃・浦幌・大樹エリア

- ・釧路方面からのゲートとなるエリア
- ・考えられる核拠点：新規設定が必要

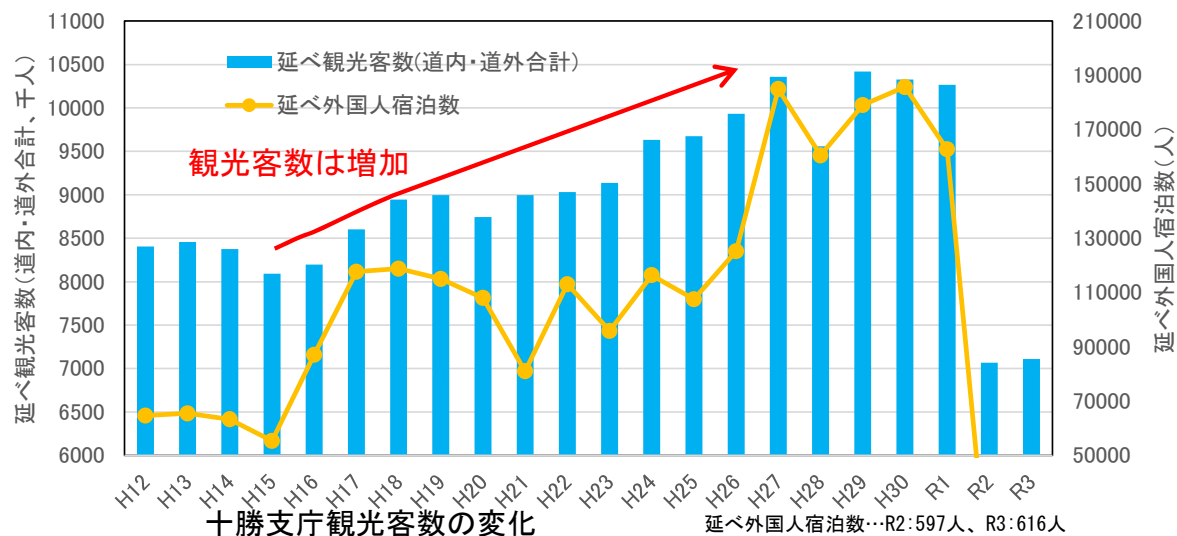


インフラわくわくツアー
(統内新水路、十勝川下流防災施設、千代田新水路、札内川ダム、十勝ダム等)

0 5 10 20 km

4-1 十勝の観光・地域経済への貢献（1）

- 十勝地方に訪れる観光客はコロナウイルス感染症拡大前には年々増加がみられた。十勝の豊かな自然や食等を資源とし、高い観光ポテンシャルを有している。
○ 令和3年に「十勝アウトドア観光推進プラン」が策定され、ポストコロナを迎えつつある今、観光産業は地域経済活性化の起爆剤として期待されている。



豊かな自然環境は十勝の重要な観光資源となっている

十勝の強み

自然

広大な
大地

清澄な
水・空気

山・川
湖・海

四季の
変化

美しい
景観

冬の
しばれ

星空

化石

食

肥沃な
大地

農産物

畜産物

海の幸

ワイン

スイーツ

乳製品

自然を活かした遊び・観光

アウトドア

体験
ツアー

温泉

ジオパーク

サイクリング

フィッシング

ガーデン

熱気球

4-2 十勝の観光・地域経済への貢献（2）

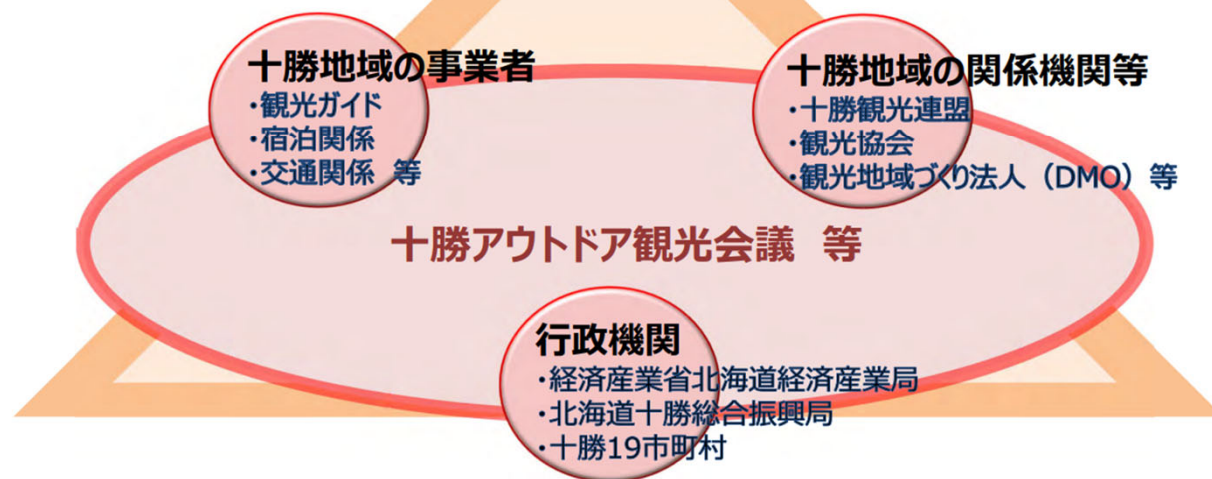
○「十勝アウトドア観光推進マスタープラン」は、「ポストコロナにおけるアウトドア観光のあり方」を検討するため、北海道経済産業局と帯広市が十勝地域の市町村や企業にヒアリングを行い、現状と課題、ニーズを踏まえ、連携推進体制の強化と4つのプロジェクト推進を柱として、今後の方向性をとりまとめたもの。

■十勝アウトドア観光推進マスタープラン

- ◆コロナによりアウトドア需要が増加。「アウトドア観光推進」が十勝活性化の起爆剤となることを認識。
- ◆地域の現状や地域企業が抱える課題についての情報共有、地域課題の解決や地元プレーヤーの経営力強化に向け、アウトドア事業者と行政がともに取り組む体制の強化が必要。
- ◆十勝市町村・プレーヤー等で構成される「十勝アウトドア観光会議」等を推進母体とし、その機能を強化した上で、数年以内を目処に自走化を目指す。

十勝地域における取組への積極的な支援

施策の活用・情報提供、プロモーション、環境の整備 等



<連携推進体制>

<4つのプロジェクト>

①アウトドア×食

- ・ 十勝の優良な食コンテンツを活用したアウトドア誘客

②アウトドア×周辺ビジネス

- ・ 十勝をサウナやアウトドアギア等により「一歩進んだアウトドアの地」として広く認識される取組

③アウトドア×ワーケーション

- ・ 十勝のアウトドア施設と連携した、ワーケーション実施

④アウトドア×アドベンチャーツーリズム

- ・ ATWS※2021北海道開催を視野に、地域との共生、分化・歴史を踏まえた食やコンテンツの提供

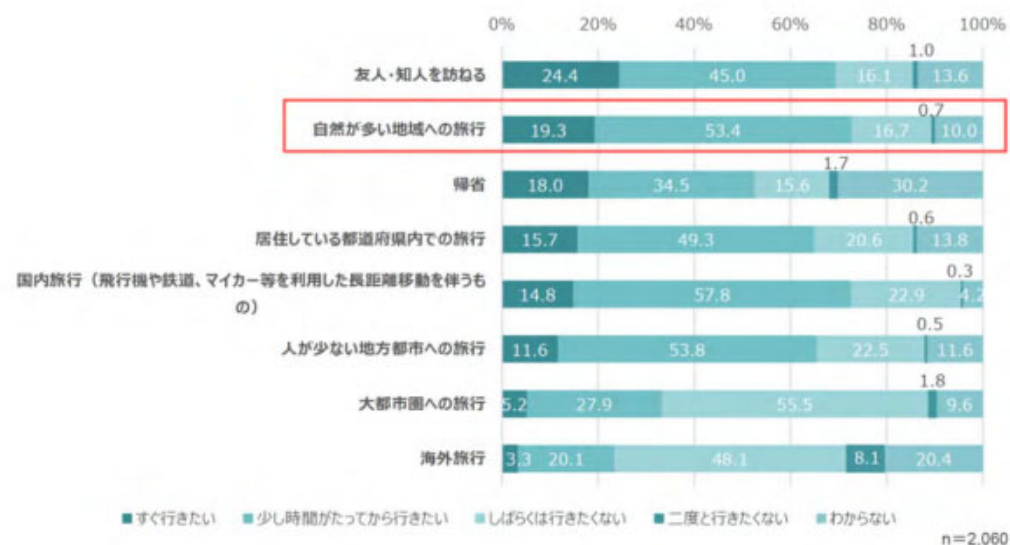
※アドベンチャートラベルワールドサミット

4-3 十勝の観光・地域経済への貢献（3）

○湿地環境等の河川整備によって創出された空間を観光素材として活用し、地域社会への貢献を目指す。

- コロナ禍以降、**国内旅行、インバウンドともに自然の多い地域が好まれる**傾向。
- 優位性のある十勝地域において、アウトドア観光を推進することは、今後のトレンドを踏まえても、国内外からの誘客に大きく寄与。

渡航や外出自粛が緩和された場合、 どんな旅行にいつ頃行きたいか（国内旅行）



- 調査時期：2020年4月27日～29日
- 調査対象：国内の男女（15歳～79歳）2,060名

資料：JTB・JTB総合研究所「新型コロナウイルス感染拡大による、暮らしや心の変化及び旅行再開に向けての意識調査2020」

Tripadvisorにおけるホテル検索数 （対前年比指数）



- 欧州やアメリカ地域において、キャンプ場や貸別荘のような宿泊施設、アクティビティに関する検索が増加

- 調査時期：2020年3～5月

注）対前年比指数は、各宿泊施設に対する検索数の対前年比を、全宿泊施設に対する検索数の対前年比を100として算出している

資料：Tripadvisor, beyond COVID-19: The Road to Recovery for the Travel Industry（2020/5）

○湿地環境等の河川整備によって創出された空間を教育素材として活用し、地域社会への貢献を目指す。

次世代に繋がられる「持続可能な地域モデル」を十勝うらほろで共につくる企業を募集

浦幌町の取組みは、SDGs時代のパートナーシップ事例として注目されている！



「SDGs時代のパートナーシップ（学文社）」などの著書で浦幌町の取組みが大きく紹介。浦幌町内の小中学校を中心とした次世代に繋ぐ持続可能なまちづくり「うらほろスタイル」は「地方創生×教育」の先導モデルとして、国や研究機関から高く評価。全国からの視察や講演依頼も多く受けている。子どもたちの自己肯定感の向上にも寄与。



メディアも注目！都市の社会人や企業と数多くの協働を実現！

●「うらほろスタイル」で長年おこなってきた次世代に繋ぐ協働を基盤として、SDGs貢献を目指す企業や副業型企業人など様々な組織・個人が参画。次世代に繋がられる「持続可能な地域モデル」を「うらほろ」で創っていくために必要な課題解決や事業創出に取り組む。

●大手IT企業・製薬会社等勤務の社員が副業ボランティアでまちづくりに参画する。これらの副業モデルはメディアでも多数紹介。また、企業版ふるさと納税等も活用した企業と連携した事業開発も数多く行う。

●十勝うらほろ楽舎では、企業版ふるさと納税の制度などを活用し、私たちの思いに共感してくださる企業様とともに事業開発に取り組んでいます。協働での事業開発にご関心をお持ちの企業様を募集しています。

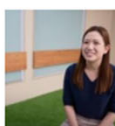
楽舎メンバーは多彩！町内で別会社の起業をチャレンジするメンバーも！



楽舎代表/近江正隆



宮寺由佳
2021.5
オリエンタルランド
から転職



浅野佳奈
2021.5
東武トップツアーズ
から出向



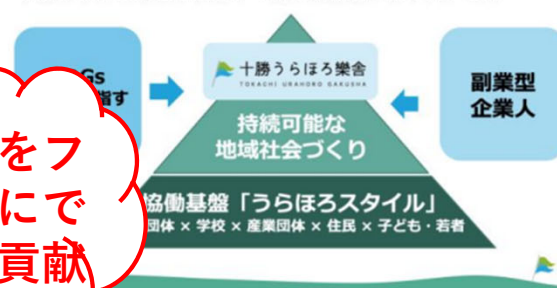
楽舎副代表の北村昌俊
(北村林業)理事の佐藤功行(ロータ製菓)
前地雅人(ソフトバンク)等が副業で木材加工会社「パトンプラス」を設立。



楽舎副代表の辻木勇二
(元メルベ)理事の原田健二(元ヤフー)
前地雅人(元ヤフー)等がIT会社「フォレストデジタル」を設立。

河川空間をフィールドにできる社会貢献を検討

十勝うらほろ楽舎が目指す「新たな協働のカたち」とは



上の協働例：SDGs探究プログラムの開発

東武トップツアーズ(株)から浦幌町に企業版ふるさと納税を寄附。寄附金をもとに、東武トップツアーズと楽舎が共同で、浦幌での体験と事前・事後学習を通して探究心を育む町外の学生向けSDGs探究プログラムを開発。

2021年 東武トップツアーズから浦幌町に1000万円のふるさと納税寄附。

東武トップツアーズの出向者と楽舎との協働でプログラムを開発、トライアルの実施

2022年～ 浦幌町での本格始動
東武トップツアーズでの他地域への展開



学びのフィールドが充実！（研修・出向の受入拡充）

日本最大の学生農業インターンを仕掛ける山内一成が参画。現在研修事業全般を担当。楽舎代表近江正隆は、ISL企業経営者育成プログラムのコーディネーターやIT企業や中央官庁の研修プログラム受入の実績があり、また副代表の辻木勇二氏・顧問の杉江和男氏は、大手企業等での研修実績がある。企業様のニーズに合わせた研修プログラムの開発実施が可能。



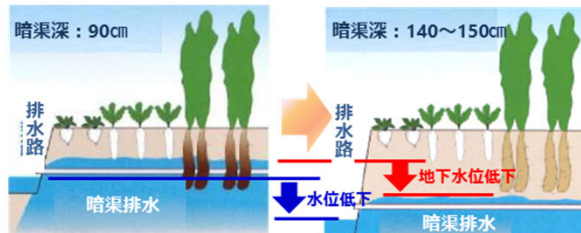
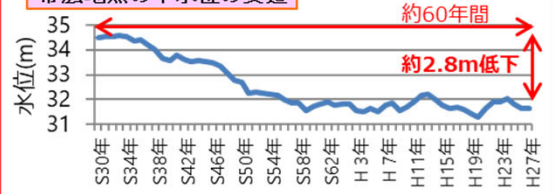
一般社団法人 十勝うらほろ楽舎：北海道十勝浦幌町に本社を置く組織。浦幌町民の他企業や中央官庁からの転職者と現在も大手IT企業やベンチャー企業・大学などに勤務しながら副業で関わる者、連携企業からの出向者、北大や北教大・筑波大・APUからの新卒生・地域出身の若者で構成。次世代に引き継げる持続可能な社会を目指し、生き抜く力を育む人づくり・まちづくりを推進し、また税に頼りすぎない、まちづくり財源を稼ぐ投資する新たな仕組みづくりに挑んでいる。令和2年4月に設立。

○湿地環境等の河川整備によって発生する土砂を有効活用して地域社会への貢献を目指す。

十勝川流域の農業への効果

- 治水対策に伴う平水位の低下及び、排水整備等の農業基盤整備の効果が相まって地下水位が低下。
- 約60年間で市街地面積が約3.7倍に、農地面積が約25%増加
- 農作物の品質向上、ブランド化等に寄与

帯広地点の平水位の変遷



Topic：地域との連携

- 泥炭を下流農地の「重粘土壤」の土壌改良材として有効活用し、生産性向上に寄与

■十勝川下流部の河道掘削で発生する、盛土材に適さない厄介者の泥炭を、豊頃町、浦幌町、池田町、幕別町の農地の土壌改良材として提供し、農地の生産性向上に寄与しています。

デントコーンの生育状況



地域からの声（搬入先の町長）

本地域は過去から水害常襲地帯であり、大洪水の際には町全体が被災していたが、近年は洪水被害が激減しており、治水事業に大変感謝している。今後も治水事業の推進のために連携を強めていきたい。



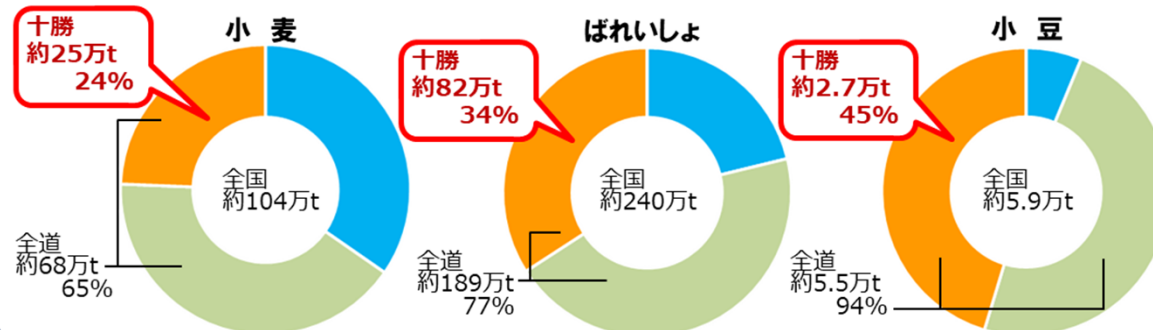
豊頃町の大豆収穫量の変遷



～ 全国の食を担う生産力・ブランド力 ～

- ・全国トップクラスの生産量・シェア（小麦、ばれいしょ・小豆など多数）
- ・「十勝」を商品名に利用した乳製品や野菜加工品などが数多く販売

十勝農産物の全国生産量シェア(H31、一例)



【商品一例】

カルビーポテト(株) 帯広工場

国内加工用の年間64万トンのジャガイモの内、約24万トンがこの工場から出荷されカルビーのポテトチップスとなる



十勝製菓(株)

全国的にも有名なサザエ食品(株)「十勝おはぎ」の餡を製造。原材料の小豆も十勝産を使用。



○湿地環境等の河川整備によって発生した河畔林等を活用し、地域社会への貢献を目指す。

帯広市は、2008年に、低炭素社会の実現に向け、先駆的な取り組みにチャレンジする「環境モデル都市」に選定され、温室効果ガス削減目標や具体的施策を明らかにした環境モデル都市行動計画を策定し、地球温暖化防止と活力あるまちづくりが両立した持続可能な低炭素社会の構築に向けた取組を進めています。

河川敷地内の立木等を帯広市に提供することで、木質バイオマスボイラーによる熱利用を進めています。

環境モデル都市おびひろのイメージ（主な取り組み）



■カルビー(株)帯広工場の取組

カルビー帯広工場は主に「じゃがりこ」と「じゃがポックル」の生地、「Jagabee」を製造しています。木質バイオマスボイラーで水を暖め、蒸気を作り、じゃがいもを蒸す工程や、乾燥、とフライする際の油の温度を上げる熱源として使用しています。また、工場内や排水処理施設の暖房にも使用しています。



カルビー(株)帯広工場

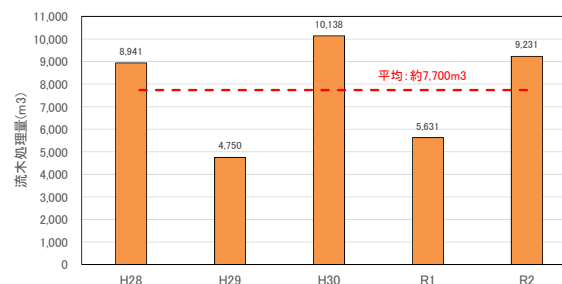
馬鈴薯加工およびその他の農産物加工品の商品開発、製造販売



平成28年8月出水後の流木状況

帯広河川事務所管内で発生する立木等は、チップ化された後、カルビー帯広工場に運ばれ、LNG（液化天然ガス）の代わりにの燃料として使用している。

カルビー(株)帯広工場では、年間約4万トンの蒸気をバイオマスボイラーにて生成し、カーボンニュートラルにより約8,000 t-CO₂以上の温室効果ガスの削減を進めている。



流木のチップ化

○湿地環境等の河川整備によって創出された空間を体験活動場として活用し、地域社会への貢献を目指す。

- ◆ 小中学生を対象に、**水生生物調査**や**簡易水質調査**を通じて「**水辺の自然の豊かさ**」を肌で感じてもらい、**河川愛護や水質保全などに対し関心を高めてもらう**ことを目的に実施している。
- ◆ 川の安全管理について資料提供し、**講習会**や**安全指導**を行うことで、**川の危険について知識を深め、水難事故防止を図る。**

✓ 安全教育

ライフジャケットやスローロープの使い方、河川に内在する危険箇所の把握や急な増水時の身の守り方などを実際に体験しながら学習します。



✓ 水生生物の観察

水辺の生き物探しの楽しさや、多様な生息環境の重要性の理解を深めます。



水生生物の採取

水生生物の観察

✓ 川の体験学習 研修会

十勝川流域の良好な自然環境を次世代に引き継ぐことを目的に、学校教育の場において河川を活用した環境学習などが積極的に行われるよう、小中学校教職員を対象に、河川での安全管理の方法や体験活動の基礎技術を習得するための講習会を開催することにより、川に学ぶ自然体験活動をご支援いたします。



✓ 水質調査

パックテスト（簡易な操作で水質分析をすることができる器具）を用いて水質分析を行い、調査地点の水質階級を判定します。



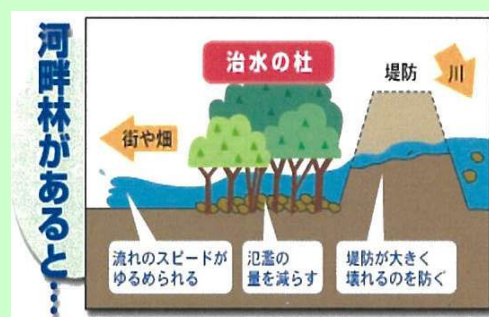
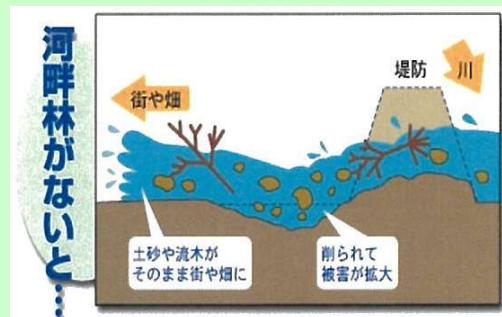
パックテストとは・・・

簡単な操作で水質分析することができる器具です。水を吸い込み、一定時間後に吸い込んだ水の変色を標準色と比べ、同じ色、または似た色をさがし、そこに示された数値が測りたい水質の濃度になります。



➤ 堤内側に河畔林を縦断的に整備することにより、生物多様性と治水機能の確保し、地域社会への貢献を目指す。

◆目的と効果



①洪水時において、万が一流水が堤防を越えたり堤防が崩れたりした場合に、川からあふれ出る水の勢いを押さえることで、洪水氾濫による被害を軽減します。

②いざというときの水防資材としても活用できます。

③連続して整備することで、鳥や昆虫等の生息の場など自然豊かな河川環境が創出されます。

④地域の憩いの場や生物の学習の場としてなど、多くの目的に利用することができます。

このような樹林帯を治水事業で整備することを「治水の杜づくり」と名付けて推進しています。

◆治水の杜づくりの推進

●住民参加による事業の推進
治水の杜づくりにあたっては、種取りや苗づくり、植樹などの作業に子供たちや地域の方々の御協力を得て、街づくりや子供たちの体験学習の一環として参加していただくことを目指しています。



◆植樹方法

現在行っている植樹の方法は、「生態学的混播法」を採用しています。

①十勝管内で自生する樹木の種を採取し、植樹するための苗づくりを行います（１～２年程度育てます）。



②植樹する法面には、事前に直径2mの円（ユニット）に砂利等を5cm程度の厚さで敷き均しておきます。

③ユニットは、約25㎡（5m×5m）の範囲に1個の割合で造成します。

④植樹は、1つのユニットに丈5～10cmの小さな苗10本（様々な種類の樹木）を植えます。



「生態学的混播法」
1つのユニットの中に様々な種類の小さな苗を10本植えることで、成長過程の中で互いに切磋琢磨し、最終的にその土地の気候や風土にあった樹種が育つことで、より自然に近い健全な森が造られることを期待した植樹方法です。

砂利等を敷き均す目的

苗木の定着・成長をよくするために、ある材料で地盤を被覆して、根の乾燥防止や雑草進入防止、表面浸食の防止等の効果を期待するものです。

➤ 札内川自然再生（礫河原再生）の取り組みにより、河川環境の保全のほか治水機能の確保し、地域社会への貢献を目指す。

